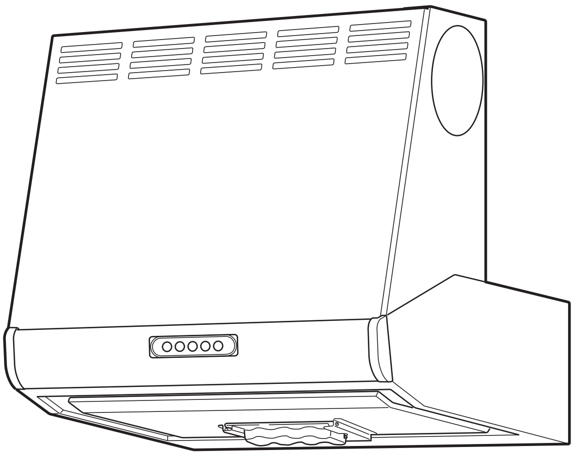
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立レンジ用フードファン

HQ-60M　台所用



このたびは日立レンジ用フードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書・据付説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、据付説明書とともに大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

感電の恐れあり

● 電球を交換するときは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。または、分電盤のブレーカーを切って行ってください。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造しない

● 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

● 感電やけがをすることがあります。

水につけたり、水をかけたりしない

● ショート・感電の恐れがあります。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

● ショート・感電の原因になります。

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

● 火災の原因になります。

電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。

● 抜かずに作業すると感電することがあります。

ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない

● 爆発・引火の恐れがあります。

⚠ 注　意

やけどの恐れあり

●指定以外の電球を使用しないでください。

けがの恐れあり

● お手入れの際はゴム手袋などをお使いください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

● 感電やショートして発火することがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

羽根や部品の取り付けは確実に行う

●落下によりけがをする恐れがあります。

運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない

●けがの恐れがあります。

お手入れの際は厚手の手袋を着用する

● 板金の切口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。

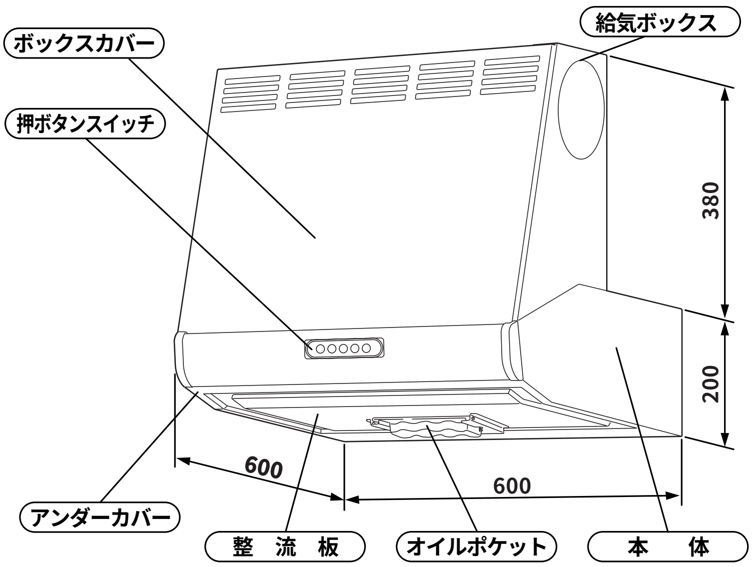
本体に異常な振動が発生した場合、使用しない

● 本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。

指定以外の電球を使用しない

●ランプ部分が高熱となり、やけどをする恐れがあります。

各部のなまえ



使いかた

⚠ 注　意

運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない

● けがの恐れがあります。

ご注意

● ガステーブルを使用するときは、必ずレンジ用フードファンを運転してください。
運転しないとレンジ用フードファン内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。
● ガステーブルの空炊きは絶対にしないでください。
レンジ用フードファン内の温度が高くなり、故障の原因となります。

■ガス湯沸器連動運転使用の場合

ガス湯沸器を使用するとレンジ用フードファンは、スイッチのボタン操作に関係なく「強」運転します。

ご注意

● スイッチが 切 状態でも、ガス湯沸器を使用すると「強」で運転します。

■ガス湯沸器連動運転使用しない場合

スイッチのボタンを押します。

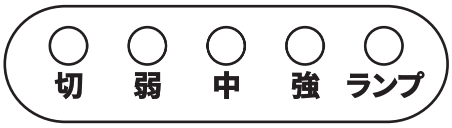
ランプ ········ランプの点灯・消灯をします。
（ で点灯、 で消灯します。）

強 ········煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。

中 ········煙などが少ないとき。

弱 ········煙などが少ないとき、長時間運転したいとき。

切 ········運転が停止します。(ランプは消灯しません。)



お手入れのしかた

⚠ 警　告

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

● 感電やけがをすることがあります。

⚠ 注　意

お手入れの際は厚手の手袋を着用する

● 板金の切口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。

ご注意

● **板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをしないよう、厚手の手袋を使用してください。**
● **モーターなどの電気部品に水をかけないようにしてください。**
故障や感電の恐れがあります。
● **アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・酸性洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油・みがき粉・金属タワシ・研磨剤入りタワシ・亀の子タワシなどは使用しないでください。**
パネルなどのプラスチックが変形・変色します。
● **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。**

お手入れのしかた(続き)

1. 分解・組み立てのしかた

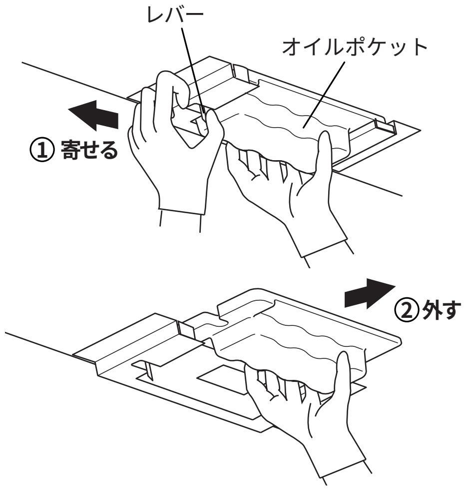
⚠ 注　意

羽根や部品の取り付けは確実に行う

● 落下によりけがをする恐れがあります。

1 オイルポケットの着脱

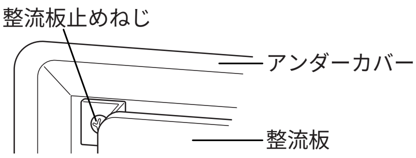
オイルポケットを外します。
オイルポケットを手で持ちながら、レバーを左に寄せ、手前に外します。



2 整流板・アンダーカバーの着脱

ご注意

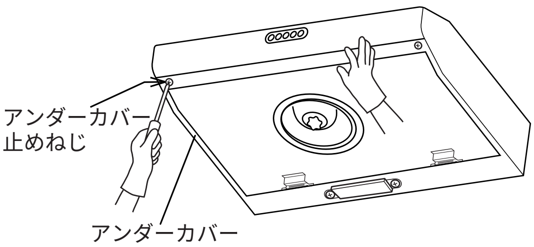
整流板、アンダーカバーを外す場合は必ずオイルポケットを外してください。
整流板、アンダーカバーを外す場合は付着した油分をふき取ってから外してください。
裏面に溜まった油がたれることがあります。



(1) 整流板を外します。
整流板止めねじ(2本)をドライバーで外します。
後部の引掛部から外すと、整流板は本体より取り外せます。(整流板を手で支えながら外してください。)

(2) アンダーカバーを外します。
アンダーカバー止めねじ(2本)をドライバーで外します。
後部の引掛部から外すと、アンダーカバーは本体より取り外せます。(アンダーカバーを手で支えながら外してください。)

(3) 取り付けるときは、取り外しと逆の手順で行ってください。



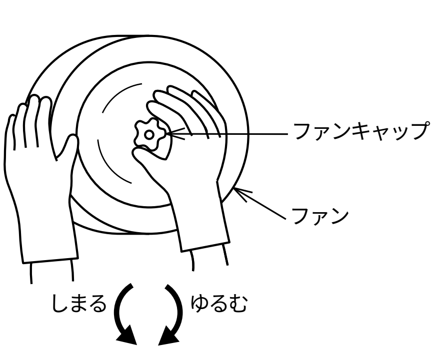
3 ファンの着脱

（1）ファンを押さえ、ファンキャップを時計方向に回して外したあと、ファンを手前に引き、モーター軸から外します。

（2）取り付けるときはファンを元まで差し込み、ファンキャップを締めつけます。

ご注意

ファンをぶつけたり、落としたり変形させないでください。



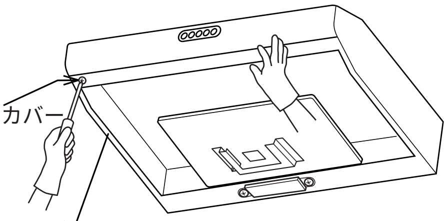
お手入れのしかた(続き)

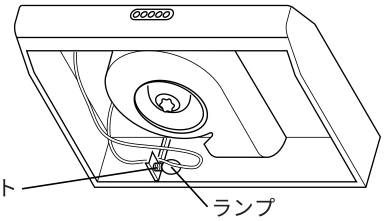
2. ランプ交換のしかた

ご使用中のランプが切れた場合には、口金E-17,S形ミニ電球(定格100V 40W形)とご指定のうえ、電気店などで購入し、交換してください。

■ランプの交換方法

（1）1「オイルポケットの着脱」を参考にしてオイルポケットを取り外します。
（2）2「アンダーカバーの着脱」を参考にしてアンダーカバーを取り外します。
（3）切れたランプを取り外し、ソケットに新しいランプを確実に固定します。
（4）取り付けのときは、取り外しと逆の手順で行ってください。





ご注意

ランプの交換はランプのスイッチを 切 にしてから行ってください。(分電盤のブレーカーを切ってください。)
感電の恐れがあります。

3. お手入れのしかた

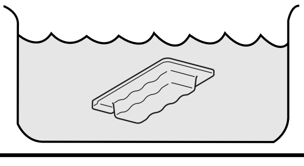
⚠ 警　告

水につけたり、水をかけたりしない

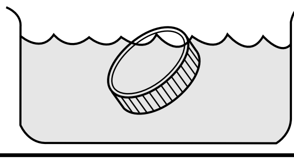
● ショート・感電の恐れがあります。

ご注意 あまり汚れないうちに掃除してください。

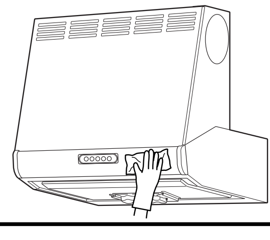
■オイルポケット
油分がたまりましたら、本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ファン、整流板
本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■本体、ボックスカバー、アンダーカバー
中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤をよくふき取ってください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　　次の点をもう一度お調べください。

症　状	点検するところ
運転しない	● ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 本体と前面カバー間のコネクターが十分差し込まれていますか。
振動・騒音が大きくなった	● ファン固定用ファンキャップがゆるんでいませんか。 ● ファンの汚れが多くなっていませんか。

お客様ご相談窓口

補修用性能部品の保有期間

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

6ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	レンジ用フードファン
形　　名	HQ-60M
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか?

- **スイッチを入れても動かないことがある。**
- **運転中に異常な音や振動がする。**
- **焦げ臭いにおいがする。**
- **その他、異常・故障がある。**

ご使用中止　**このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。**

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間)
9:00～19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-145-458

(受付時間) 9:00～17:30(月～金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

お客様ご相談窓口(続き)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz 又は／ 及び 60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の据付説明書による
負荷条件		定格負荷(換気量)	製品の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a)	
		台 所 2 410 時間	
		居 室 2 193 時間	
		トイレ 2 614 時間	
		浴 室 1 671 時間	
注記 温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。			
注 a) 常時換気(24 時間連続換気)のものは、8 760 時間/年とする。			

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

仕様

形 名		HQ-60M
電 源		100V 50/60Hz共用
消費電力(W)	強	90/99
	中	65/66
	弱	47/46
風 量(m^3/h)	強	620/610
	中	410/410
	弱	240/230
質 量(kg)		20.0

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　電話 (　　　)　　-

ご購入年月日　　平成　　年　　月　　日

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255